

心に響く温かい言葉いっぱい 学校をつくるために

子どもたちの日常の場面

学級や学年の子どもたちから、こんな言葉が聞こえてきていませんか？

かなしいな、...



最近、調子に乗ってない？

あっち行け！

教職員の声掛けの場面

子どもたちに、「温かい言葉」をかけていますか？

〇〇してくれて、ありがとう！

元気がなさそうだけど、
どうしたの？



今日は〇〇さんの〇〇な姿
が見られて嬉しかったよ。

- 子どもたちが心の通う人間関係をつくるためには、相手を思いやる言葉や、相手が言われて嬉しいと感じる言葉を、日常生活で意識して使えるように指導することが大切です。
- 子どもたちの温かい心と言葉を育てるために、教職員をはじめ大人は、子どもたち一人一人の大切さを自覚し、相手に届く言葉を用いながら、信頼関係を築きましょう。子どもたちの姿は、対応している大人の姿を映し出す鏡にもなるのです。

令和4年4月
昭島市教育委員会
(昭島市いじめ問題防止会議)